

災害時要援護者を助けよう

避難支援台帳登録の意向アンケート実施

災害時要援護者にやさしいまちづくりを

地震や台風、豪雨などの自然災害や火災などによって、大きな被害を受けやすいのは、高齢者や子ども、妊産婦、障害者、傷病者、外国人など、何らかの助け

が必要な人です。

災害時要援護者を災害から守るために、市と連携し、地域内で協力し合いながら取り組むことが大切です。

避難支援を必要とする人たちのために

災害時要援護者を守る！

緊急時には

災害時要援護者は、ひとりでは身の安全を確保することが困難です。災害時、地域の人は積極的に声をかけ、手助けしましょう。

①避難するときにはしっかり誘導を

ひとりの災害時要援護者に対して複数の住民でサポートするなど、地域で具体的な支援体制を決めておきましょう。



②安全に避難できるように支援する

目が不自由な人には、階段などの障害物を説明しながら進みましょう。耳が不自由な人には、身ぶりや筆談などで正しい情報を伝えましょう。災害時要援護者が安全に避難できるように支援しましょう。



③困ったときこそ温かい気持ちで

非常時こそ、不安な状況に置かれている人の立場に立ち、支援する心構えでいましょう。温かいおもいやりの心で接しましょう。



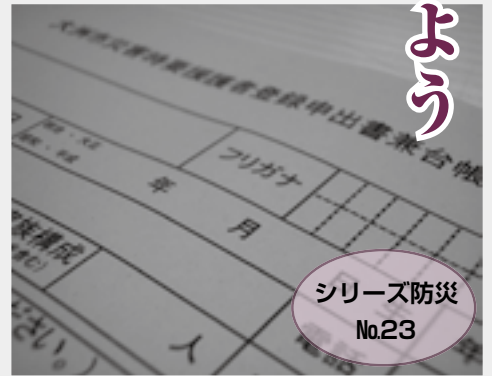
いざというときに近所同士の助け合いを円滑にできるよう、要援護者を前もって把握するための台帳づくりが全国的に進められています。市ではこの度、モデル事例を参考に「災害時要援護者登録台帳」の様式を定めました。これらを地域支援活動に役立て、災害時要援護者にやさしいまちづくりを目指します。

これからの地域支援活動のきっかけとして

市では、要援護者支援を地域が一体となって推進できるよう、高齢者、障害者など約6千8百人の皆さんへアンケート用紙を郵送（1月下旬～2月上旬予定）し、平常時や災害時の必要な支援活動などについて、お尋ねすることになっています。アンケート用紙が届いたら、回答の上、返送してください。ご協力をお願いします。

【問い合わせ先】

市役所危機管理課
☎2111
④2111
(内線352)



住宅の耐震化と家具の転倒防止

世界有数の地震国である日本は、昔から多くの被害をうけてきました。近年では阪神淡路大震災、宮城県北部地震や新潟県中越沖地震など、大きな地震が繰り返し起きています。また、南海地震が今後30年以内に50～60%程度の確率で発生すると予想されており、その規模はM8.4前後と推定されています。阪神淡路大震災における死亡原因の8割は、建物倒壊・家具転倒によるものです。そのため「住宅の耐震化や家具の転倒防止」に努める必要があります。

木造住宅の耐震化の例

- ・ 柱を増やす。
- ・ 基礎を補強する。
- ・ 柱、梁、土台を補強する。
- ・ 筋交いを入れる。

家具転倒による被害を防ぐポイント

- ・ L字型金具で固定する。
- ・ ガラス扉は、飛散防止フィルムを貼る。
- ・ 就寝する部屋には家具を置かない。
- ・ 避難経路となる出入口をふさがらない位置に配置する。
- ・ 扉や引き出しの開放防止金具を取り付ける。
- ・ 収納を工夫する。
(重いものは下に、軽いものは上に収納する。)



図書館情報

図書館情報

大洲市立図書館 ☎ 59-4111
 大洲市立図書館長浜分館 ☎ 52-1121
 大洲市立図書館肱川分館 ☎ 34-2319
 大洲市立図書館河辺分館 ☎ 39-2111

2010年2月の休館日						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

■ = 休館日 開館時間 午前9時30分～午後6時
 ※28日は館内図書整理日のため休館します。

オススメ新着図書

インターネットを利用して、図書の検索が
 各家庭や携帯電話からできます。

大洲市公式
 ホームページ → 大洲市立図書館 → 蔵書検索

大洲市立図書館 2月生涯学習講座
 文学・歴史講座「大洲の隠れた偉人」
 ～北海道開拓に生涯をかける～

講師 澄田恭一先生 期日 2月24日(水)
 時間 午前9時45分～午前11時45分
 場所 大洲市立図書館コミュニティホール

日本がもし100人の村だったら

池上彰著

少子高齢化、単身・未婚化、農業、雇用、医療、教育、社会保障、低炭素社会、コミュニティ…。どうなる、日本？この国の今、そして未来を数字で見る。池田香代子との対談も収録。

ロスト・トレイン

中村弦著

日本のどこかにあるという廃線跡。奇跡を探しに、僕は森へと旅立った。誰も知らない場所行きの列車が、いま、動き出す…。なつかしくなる、旅に出たくなる、じんわり切ない大人の青春小説。

妖怪アパートの幽雅な食卓（児童書）

香月日輪原作

「妖怪アパート」シリーズに登場する手だけの幽霊・るり子さんが作った超絶美味飯レシピ25種を徹底再現し、レシピ&るり子さんの日記を大公開。長谷&千晶のマル秘エピソード、妖怪アパートの間取り図解なども収録。

桜下の決闘

犬飼六岐著

宮本武蔵をこの上なく憎み、武蔵の二刀流に通じる「二」という数字が大嫌い。孤高を貫く剣豪、吉岡清三郎の破天荒な生き様を描く、痛快時代小説。『小説現代』掲載をまとめて単行本化。

カラーひよことコーヒー豆

小川洋子著

ダイジョウブ！あなたのことを見ていてくれる人がきつといます。作家・小川洋子による、泣きたいほど優しい気持ちになれる、愛に充ちたエッセイ集。『D o m a n i』連載に書下ろしを加えて書籍化。

秘密のマシン、アクイラ（児童書）

アンドリュウ・ノリス著

万年劣等生コンビ、ジェフとトムが、ピーク国立公園の石切り場跡でみつけたふしぎな乗り物、アクイラ。だれも知らない、そのすばらしい性能とは…？楽しくて元気が出るイギリスの傑作物語。

新着情報

【一般図書】

血液型×星座でわかる運命のパワーストーン事典 天城映著
 天皇と特攻隊 太田尚樹著
 ゴネる技術 前垣和義著
 母と娘の代理出産 根津八紘・沢見涼子著
 日本の城郭-名将のプライド 西野博道著
 名利に伝わるやさしい精進料理 日本の食を考える会監修
 私の好きな雑貨と暮らし 主婦と生活社
 読んで楽しむのだめカンタービレの音楽会 茂木大輔著
 東大生が見つけた世界一わかりやすい英単語の覚え方 浅羽克彦著
 清張とその時代 郷原宏著
 ちりかんすずらん 安達千夏著
 賢者の贈り物 石持浅海著
 万葉の暗号 伊東秋彦著

無理 奥田英朗著
 やなせメルヘン名作集 復刻版 やなせたかし著
 善良な町長の物語 アンドリュウ・ニコル著

【児童書】

虫はごちそう！ 野中健一著
 贈ってうれしいチョコレートスイーツ 宮沢うらら著
 しあわせのバトンタッチ 今西乃子著
 よなよなペンギン 清水志穂著
 ゲゲゲの鬼太郎と妖怪ドライブ 水木しげる著
 みんながそろろう日 ヨーケ・ファン・レーウェンほか作
 ひつじのロッテ アヌ・ストーナー作
 ほくだけのおにいちゃん 福田岩緒作
 アンパンマンとおえかきベレちゃん やなせたかしさく・え

※このほかにもたくさんの本が入っています。(随時配架しています。)

まちのわだい



▲繰り返し訓練する参加者

救急の現場で ～医療従事者が救急蘇生講習会を実施～

11/29(日)

心肺停止時の救急蘇生を学ぶために、第5回市立大洲病院救急蘇生講習会が、南予メディカルコントロール協議会の協力を受け、大洲市総合福祉センターで開催されました。

この講習会は、医療従事者のための蘇生トレーニングコースで、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目的としています。この日は、県内の医療機関の医師、看護師、消防機関の救命救急士など24人が参加しました。

宇和島社会保険病院麻酔科山下千鶴部長をコースディレクターに迎え、1日かけて、少人数グループで実際の救命現場を想定し胸骨圧迫、機器の操作など蘇生のために必要な技術とチーム医療としての心肺蘇生法の訓練が繰り返し行なわれました。

今後、講習会の参加者は、それぞれの職場や地域で実践していくことになります。

12/6(日)
～1/16(土)

ロマンチックな世界 ～豊茂イルミネーション～

今年も、豊茂中央地区（豊茂小学校付近）で地域をあげてのイルミネーションが冬の夜を飾り、色とりどりに光り輝きました。豊茂小学校を中心に、郵便局や民家などが独自のイルミネーションで夜道を彩り、多くの人の目を楽しませていました。

このロマンチックな輝きは、豊茂を明るくして帰り道を楽しんでもらおうと、地域住民が20年ほど前に60個程度の電球を点したのが始まりでした。その後、豊友会や豊茂内外からの協力で約5万個となり、地域の皆さんに夢と感動を与えています。



▲光輝く豊茂のイルミネーション



▲無事故を祈って

願いを込めて！ ～河辺中学生が折り鶴で交通安全～

12/9(水)

毎年恒例となっている、河辺中学校生徒による交通安全折り鶴づくりが行われました。丁寧に一つ一つ作られる折り鶴と短冊には、生徒一人一人の交通安全への熱い思いが込められており、その出来栄は素晴らしいものです。この行事は、先輩から後輩へ20年以上にわたり、毎年欠かさず実施されている年末の大切な行事となっています。

この日作られた折り鶴は、老人クラブ河辺支部のみなさんが作ったしめ飾りと一緒に、交通安全祈願祭でおはらいを受けた後、

交通茶屋で道行くドライバーに手渡されました。ドライバーの皆さん、歩行者の皆さん、交通安全に気をつけ、交通事故を起こさない、遭わないようにしましょう。

まちのわだい



▲元気良くスタートする参加者

みんなでご完走!

～第27回肱川健康マラソン大会～

12/13(日)

肱川公民館主催の「第27回肱川健康マラソン大会」が行われました。今年のコースは県道小田河辺大洲線で行われ、1 km、2 km、4 kmのコースに幼稚園児から大人まで155人が参加し、健脚を競いました。冷たい風には負けないよう十分にウォーミングアップをしてスタート。中には思いのほか体が鈍っている保護者もいたようですが、参加者全員が完走を果たしました。最後は肱川町青年団手作りの豚汁を食べて疲れを癒していました。

12/19(土)

年末年始を気持ちよく

～年末恒例清掃～

年末に気持ちよくふるさとに帰ってきてもらおうと、東大洲一体で年末恒例の清掃活動が行われました。これは、肱川流域会議水中めがね（坂本芳教会長）が主催して行っているものです。

当日は、水中めがねの会員のほか国土交通省や市職員など約100人が参加。時折り雪が舞うあいにくの天気となりましたが、それぞれ防寒具に身を包んだ参加者らは、ゴミ袋と火バサミを持って、タバコの吸い殻やペットボトル、空き缶などのゴミを熱心に拾っていました。



▲インターチェンジ附近でゴミを拾う参加者



▲真剣な顔で半紙に向かう参加者

初春の日 白い半紙に向き合って

～新春書き初め会～

1/6(水)

毎年恒例の「新春書き初め会」が、喜多小学校で行われ、市内の小中学校から約230人が参加しました。

多目的ホールでの開会式が終わると、児童・生徒はそれぞれの教室に向かい、練習を始めていました。清書用の半紙に向かった児童・生徒は真剣な表情で筆を握り、丁寧に課題文字を書いていき、約1時間で作品を書きあげました。作品を提出した子どもたちは、ほっとしたような笑顔を浮かべていました。

新春書き初め会では、各学年から数人が金賞から銅賞に選ばれます。今年は、そのうち12人に広報大洲4月号からの題字を作成していただく予定です。